取付業者様用

2022年7月(B)　　KIT－020－設 ⑥

フレームキッチン / ユカオキ　取付設置説明書

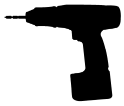
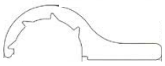
安全上のご注意（必ずお守りください）

この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

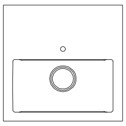
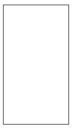
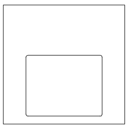
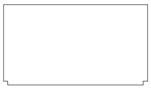
- ■ 取付業者の安全と使用者の安全確保のために、この取付設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい取付設置を行ってください。
- ■ 取付設置完了後、各部の点検を行い、異常の無い事を確かめてください。
- ■ フレームキッチンは配管やコンセントが露出します。

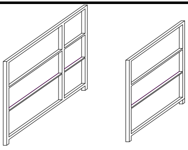
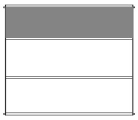
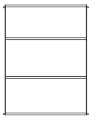
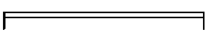
⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「**注意喚起**」です。

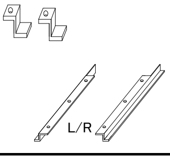
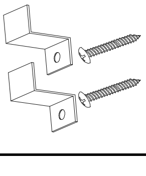
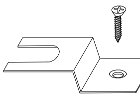
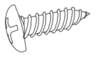
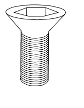
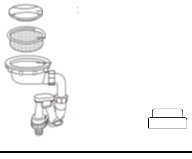
組立てに必要な道具（取付作業者様でご用意願いします。）

電動ドライバー	六角レンチ（4ミリ）	ハンドドライバー（＋）	排水金具の固定金具
	推奨：長いタイプでボールポイント付き		 φ180用

部品表

カウンター（シンク部）	カウンター（調理部）	カウンター（コンロ部）	棚板
			

縦フレーム	横フレーム（背板用パネル付き）	横フレーム（背板用）	横フレーム（手前）	天板補強桟
				

棚板固定金具（大、小）	壁面固定金具	フレーム床固定金具	トラス頭ビス	皿頭ねじ	排水トラップセット（カウンターに同梱）
		 4×25	 4×16	 六角レンチ使用	

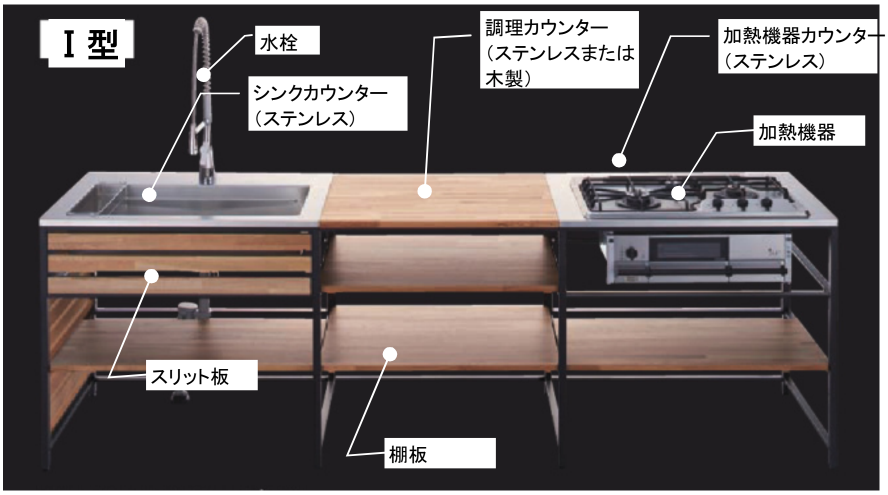
建築工事店様(大工工事)へ　確認事項

・**壁、床などの仕上げは完了していますか？**
フレームキッチンは壁や床が露出します。

・**壁、天井に固定するための桟木が入っていますか？**
フレームキッチンや設備機器(フード等)を固定するために桟木が必要です。

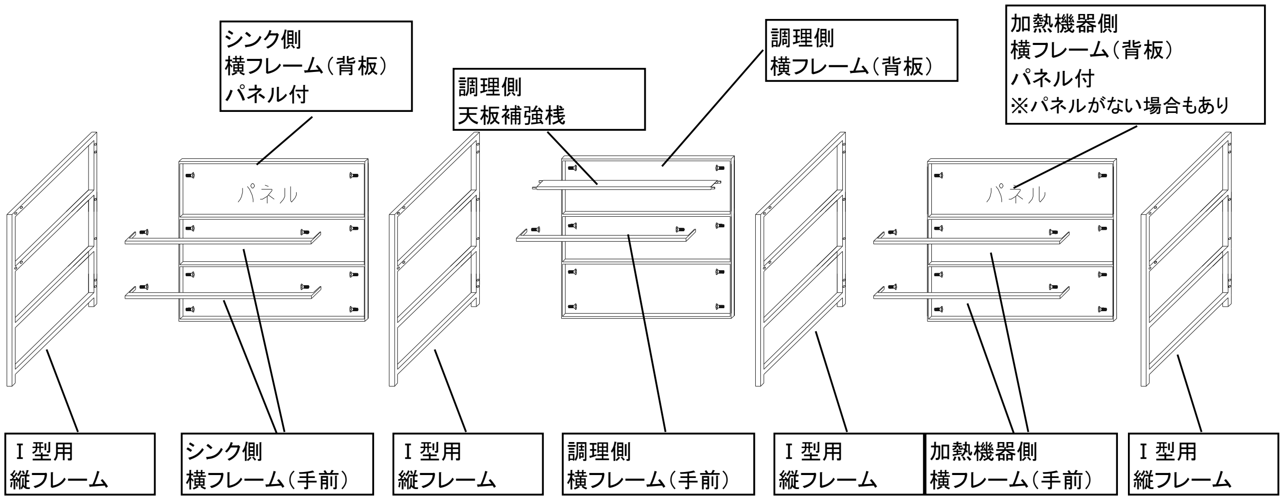
・**巾木(幅木)はフレームキッチン取り付け後に施工してください。**
フレームに巾木(幅木)の逃げがありません。

各部のなまえ

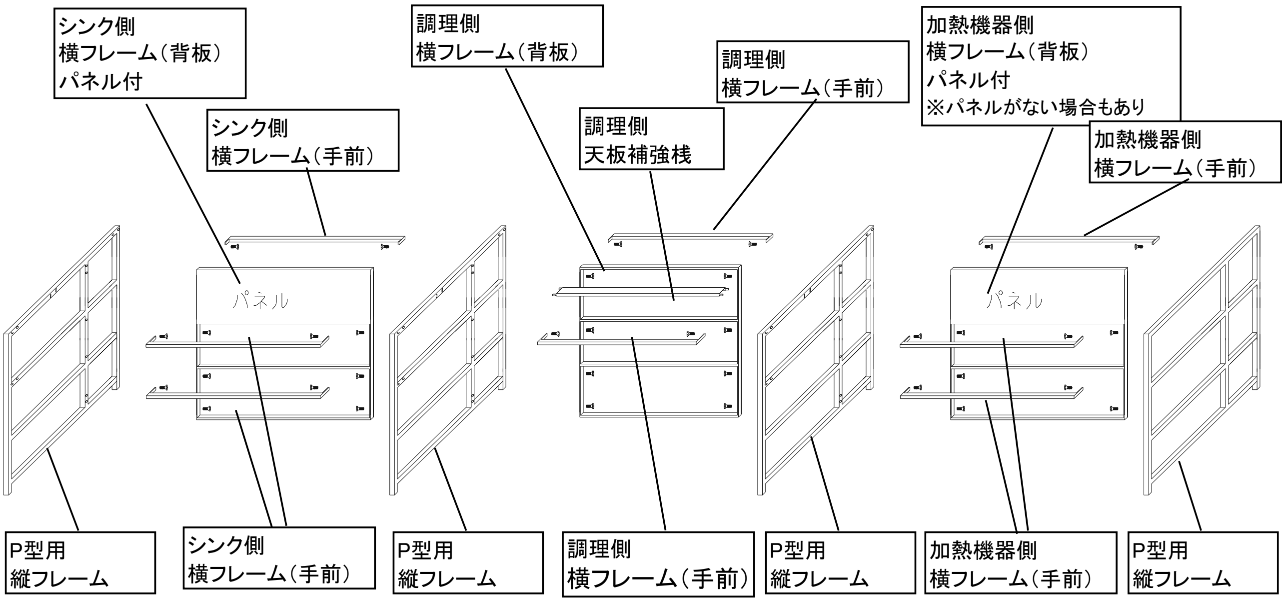


フレームのなまえ

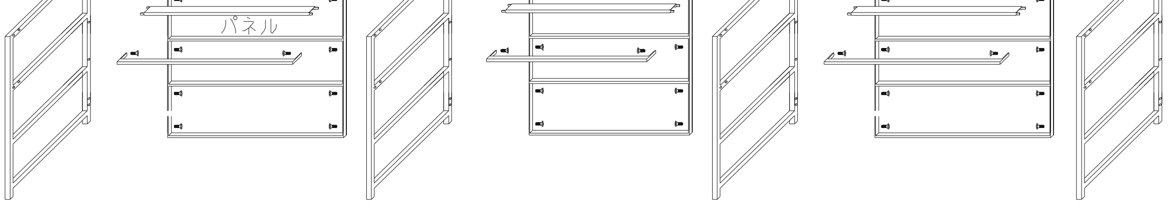
■ I 型用



■ P型用



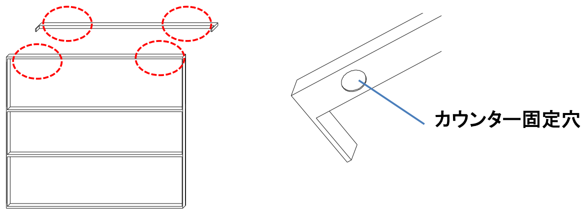
■ ユカオキ　※ 名称は上記と同じ



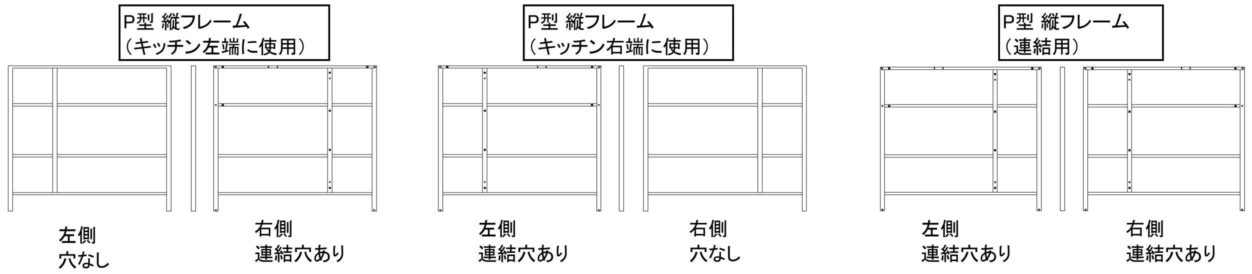
⚠ 注意

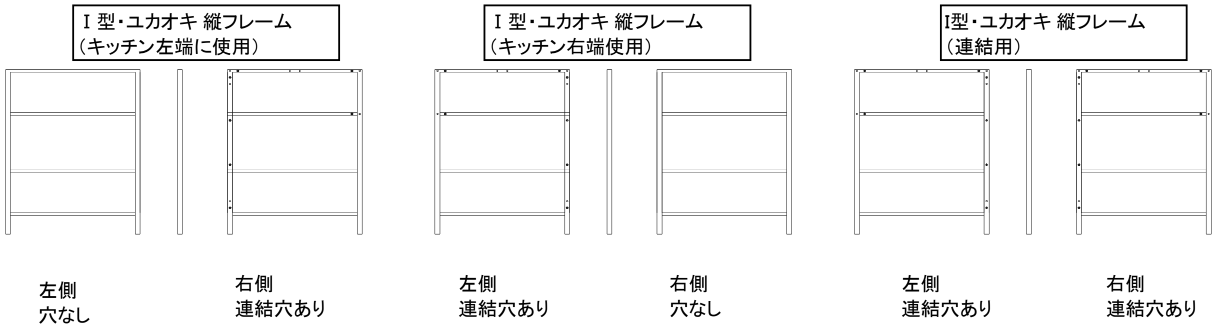
● 横フレームは上下があります。

横フレーム（天板受け用、背板用）のカウンター固定穴が大きい方が下向きになります。



● 縦フレームには左端用・右端用・連結用があります。



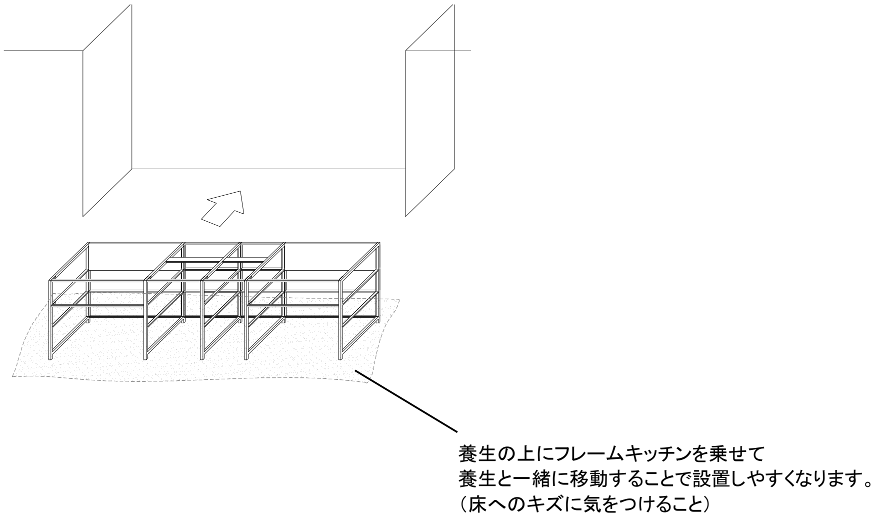


● ビス固定する際は必ず下穴をあけてから

木製のカウンターや棚板が割れるおそれがあります。

● 壁壁内でのフレーム組み立て作業はできません。

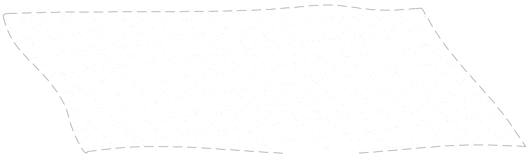
フレームの連結をしてから壁壁内に移動して壁に納めてください。



組立て手順

1 準備

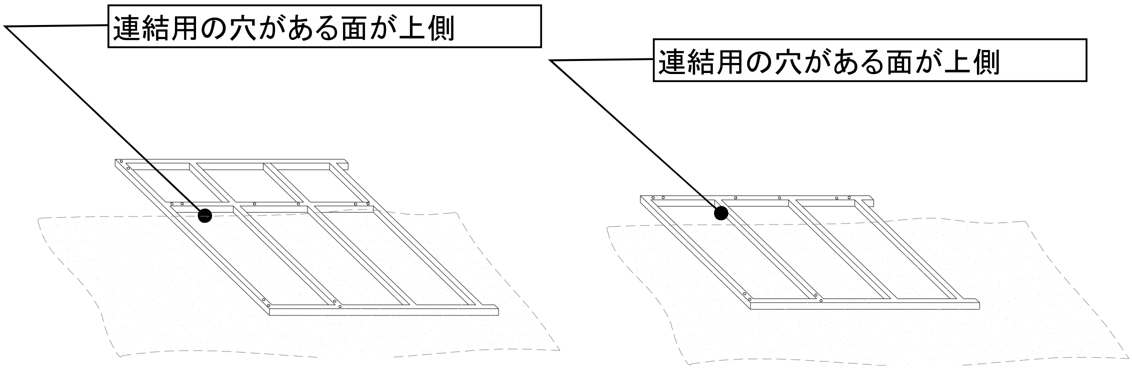
・床を傷つけないように養生をしてください。



養生不足の場合、部品が落下すると床を傷つけるおそれがあります

2 縦フレームの準備

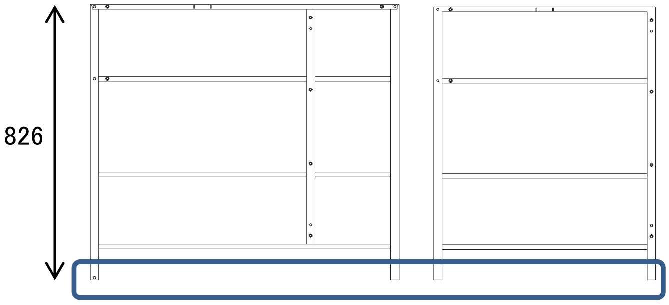
・縦フレームを養生した上に寝かしてください。その際は、連結穴が上になるように置きます。

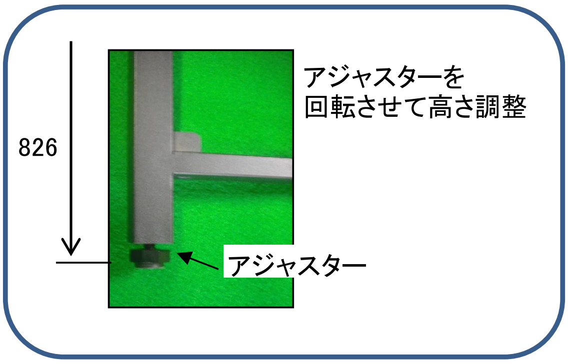


ポイント：キッチンプランの端の部材から組み立てること。

3 縦フレームの高さ調節

・アジャスターで高さ調整をしてください。





ポイント： すべての縦フレームをアジャスター調整します。

： アジャスターの裏から六角レンチで調整できます。

4 【Ｉ型・ユカオキ】シンク側（コンロ側）のフレームの組立て

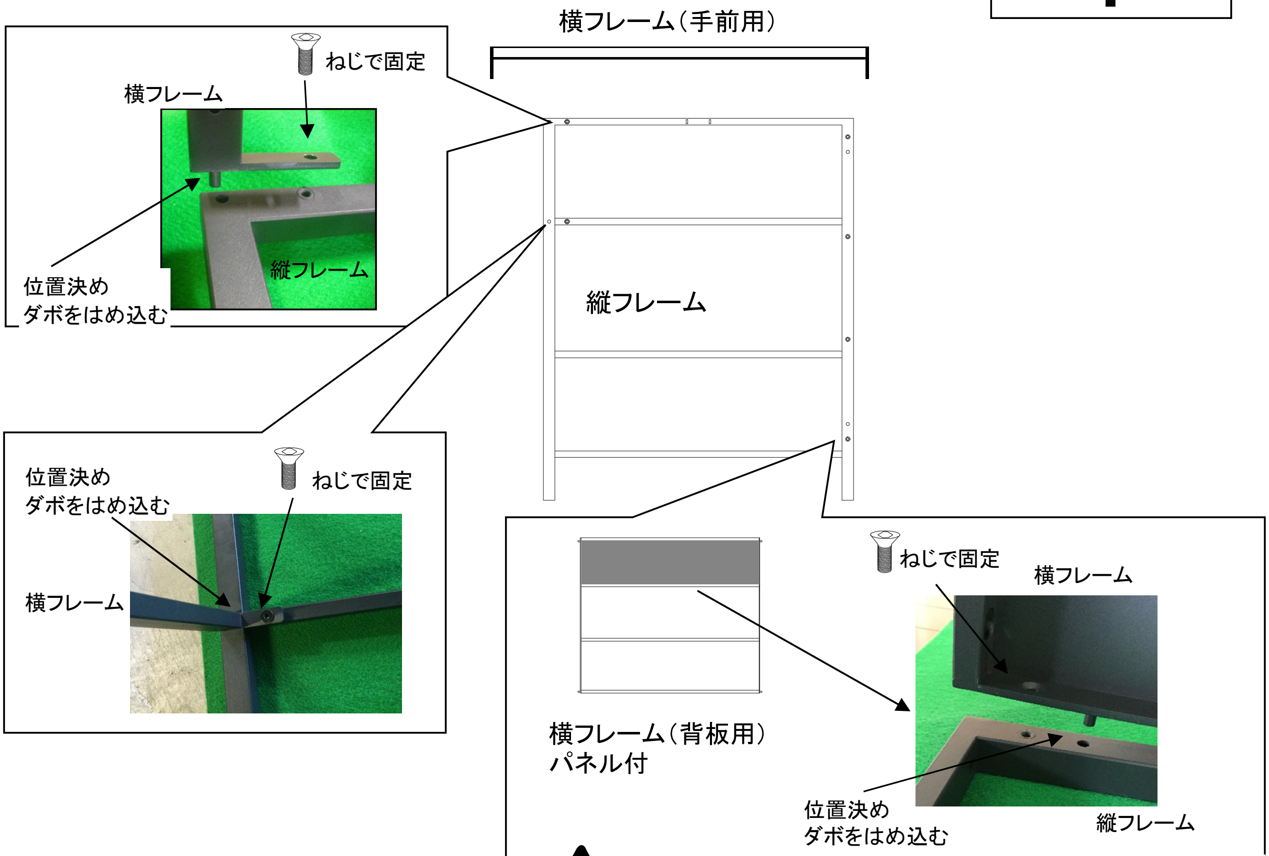
※ ユカオキの場合は補強パネルが付く場所から

① 縦フレームを寝かした状態で取り付けます。

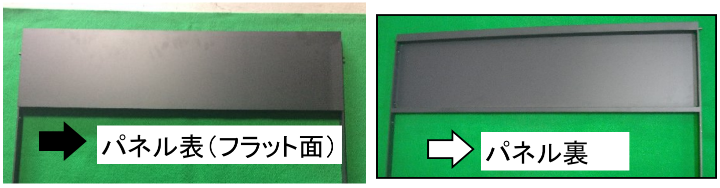
② 縦フレームに横フレーム（手前用）と（背板用）を連結ねじで取り付けてください。
連結ねじは六角レンチを使用します。強く締めないで仮締めにすることにより、
次のフレーム組み立てがしやすくなります。

⚠ 横フレームには上下があります。（P4を参照）

六角レンチ
（4ミリ）

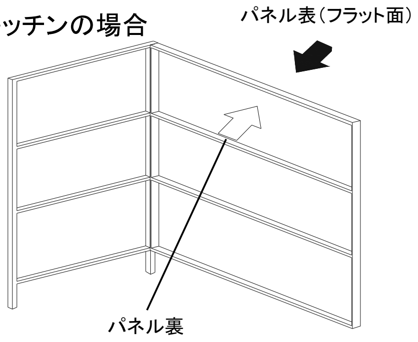


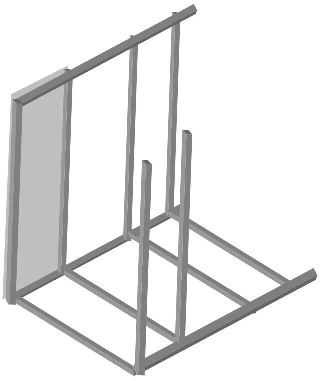
⚠ 横フレーム背板用の『パネル付』は表と裏があります。



P型とＩ型で横フレームの『パネル付』の取付方向が変わります。
下記参照

● Ｉ型キッチンの場合



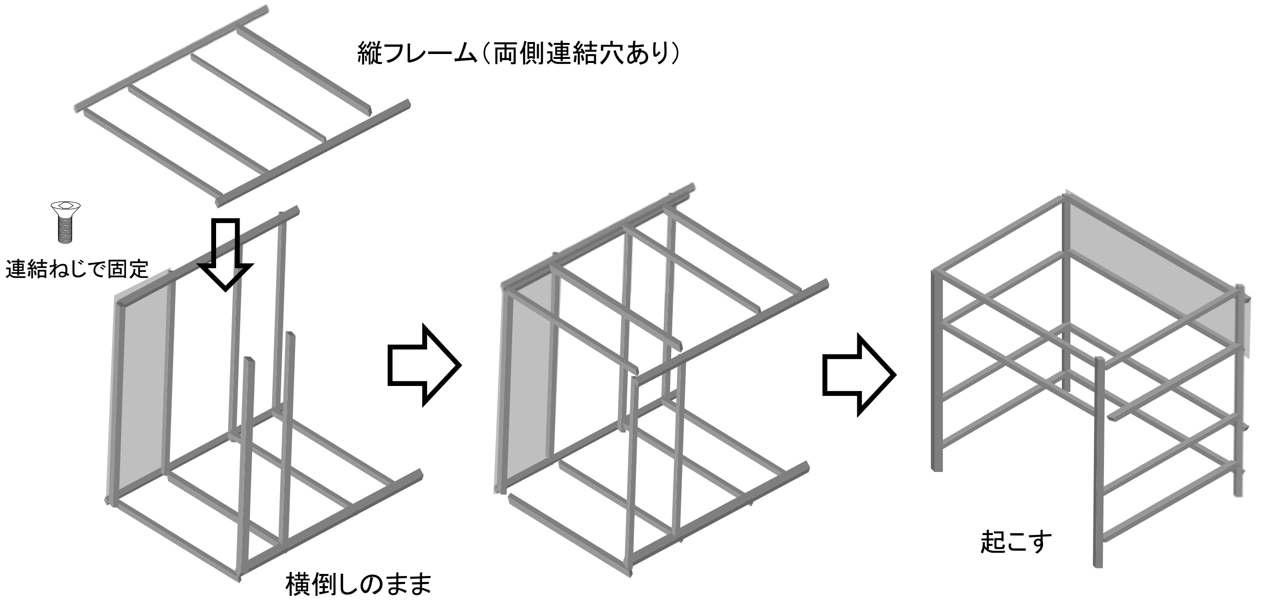


このような状態になります。

5 【Ｉ型】反対側の縦フレームの取り付け

① 4 で組み立てたフレームに縦フレーム（連結用）を取り付けてください。

② 仮締めした連結ねじを本締めして、しっかり固定してください。

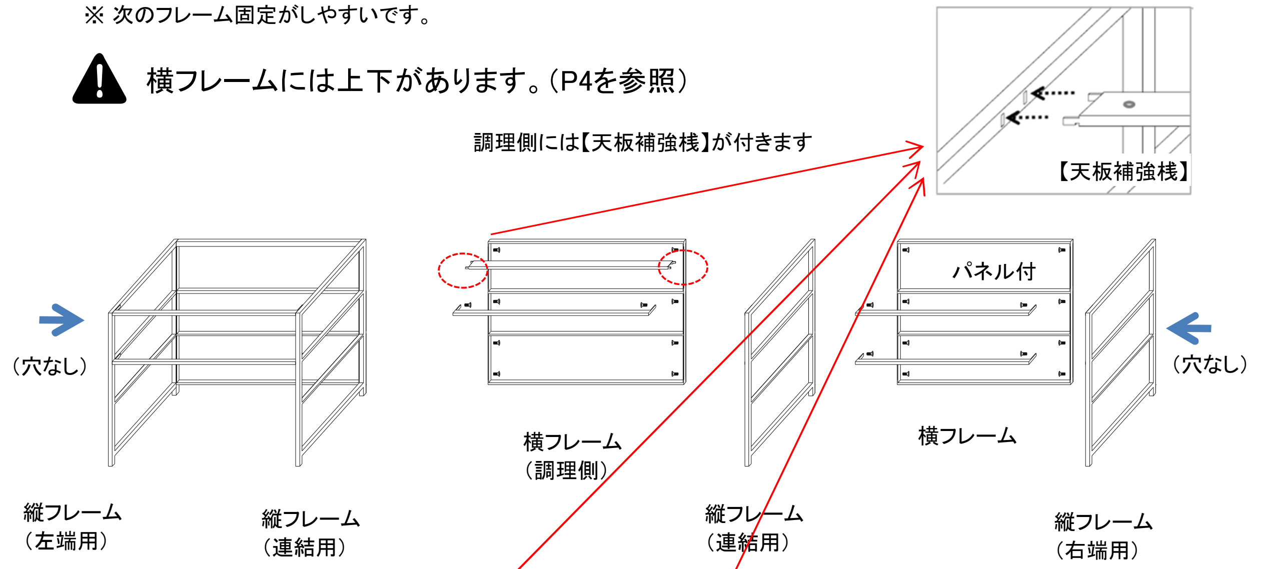


6 【Ｉ型】各フレームを連結します。

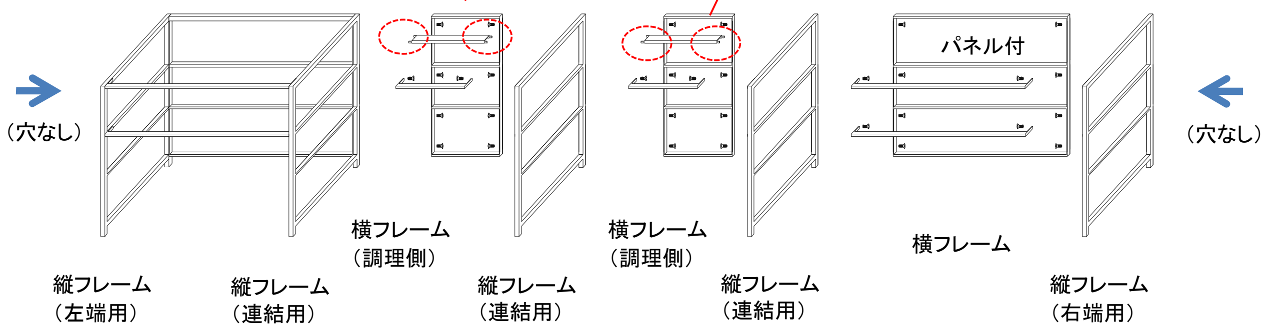
・フレームの連結ねじは仮締めにして、縦フレームを付けて後に本締めしてください。

※ 次のフレーム固定がしやすいです。

⚠ 横フレームには上下があります。（P4を参照）



（食洗機対応の場合）



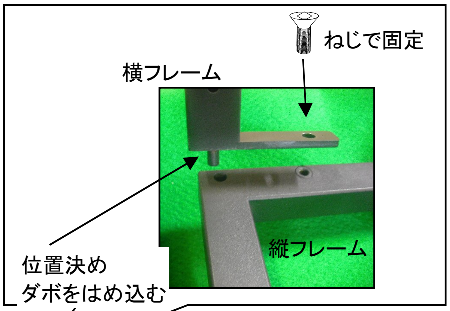
7 【P型】シンク側（コンロ側）のフレームの組立て

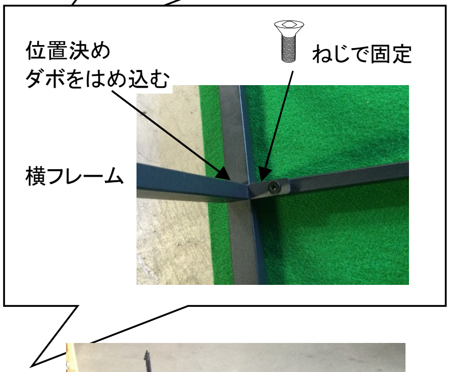
① 縦フレームを寝かした状態で取り付けます。

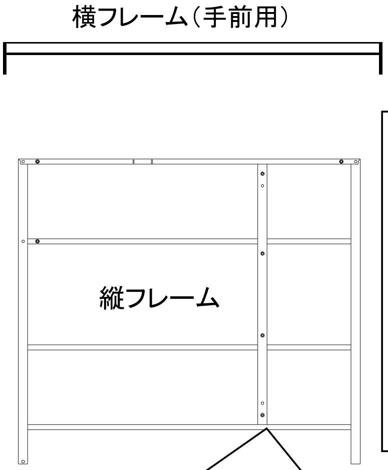
② 縦フレームに横フレーム（手前用）と（背板用）を連結ねじで取り付けてください。
連結ねじは六角レンチを使用します。強く締めないで仮締めにすることにより、
次のフレーム組み立てがしやすくなります。

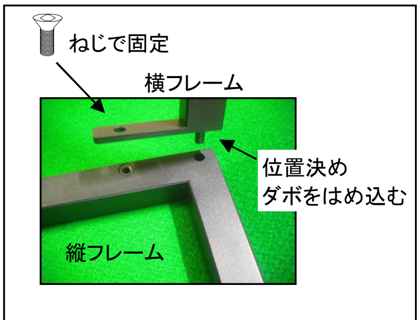
⚠ 横フレームには上下があります。（P5を参照）

六角レンチ
（4ミリ）

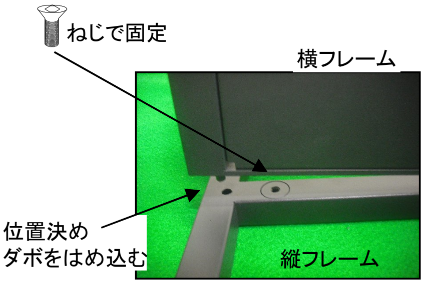




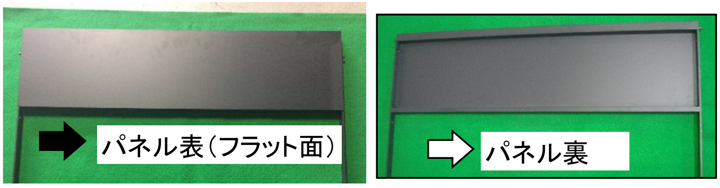




※ P型フレームの場合のみ

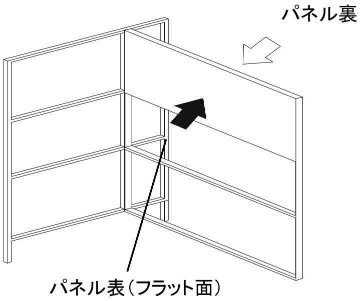


⚠ **横フレーム背板用の『パネル付』は表と裏があります。**



P型とＩ型で横フレームの『パネル付』の取付方向が変わります。
下記参照

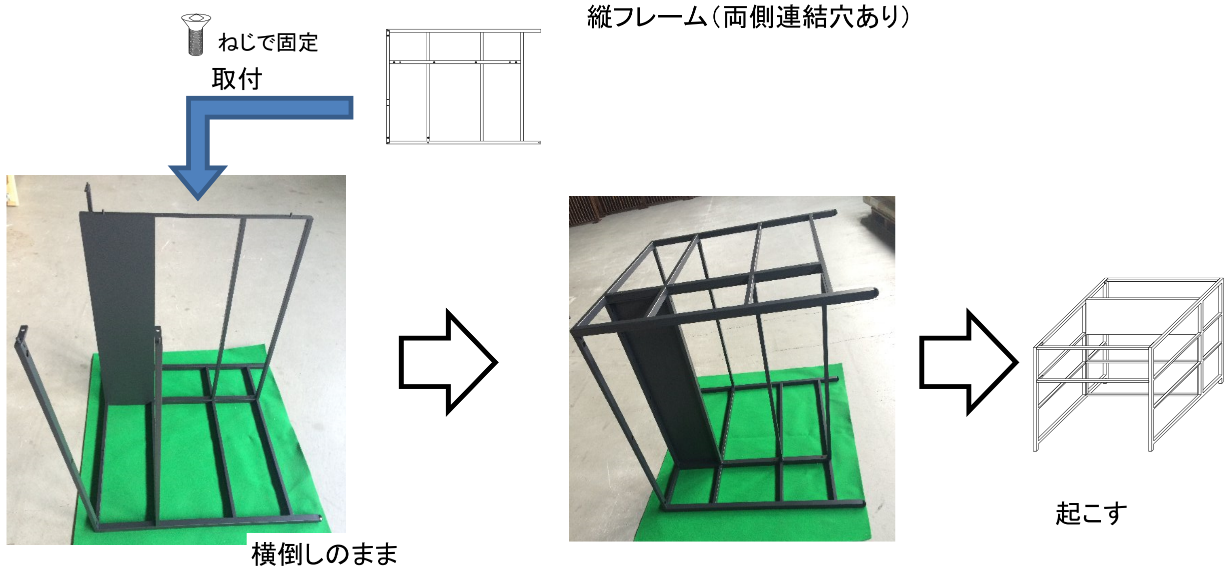
● P型キッチンの場合



8 【P型】反対側の縦フレームの取り付け

①7で組み立てたフレームに縦フレーム（連結用）を取り付けてください。

② 仮締めした連結ねじを本締めして、しっかり固定してください。

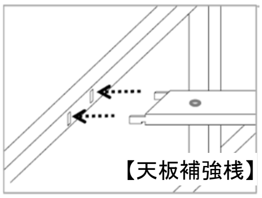


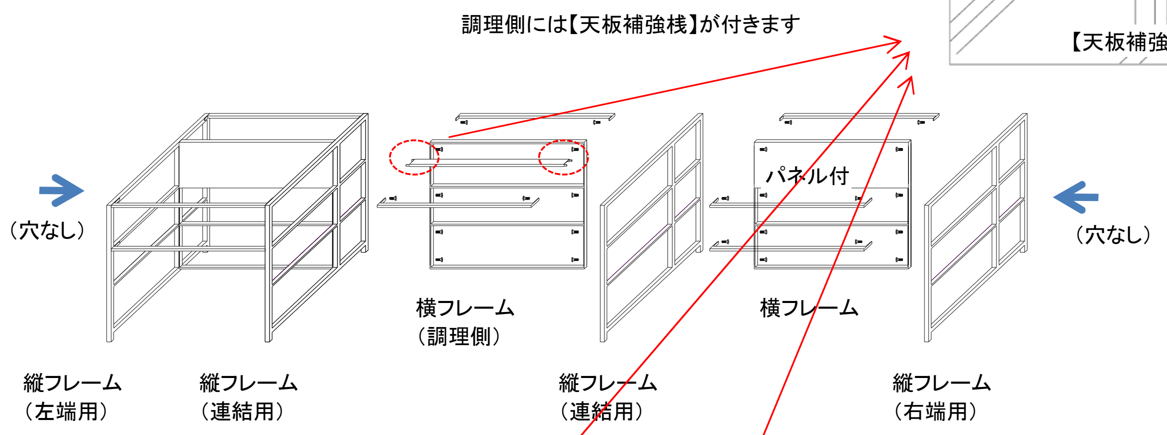
9 各フレームを連結します。

・フレームの連結ねじは仮締めにして、縦フレームを付けて後に本締めしてください。

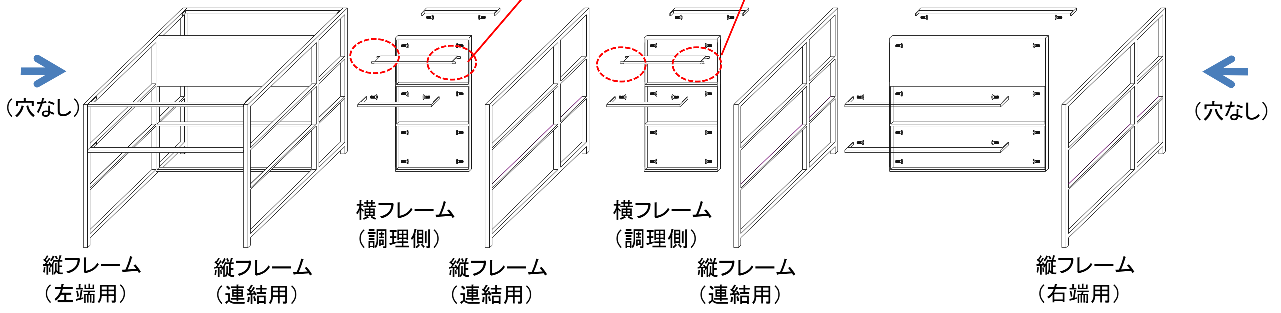
※ 次のフレーム固定がしやすいです。

⚠ 横フレームには上下があります。（P2を参照）





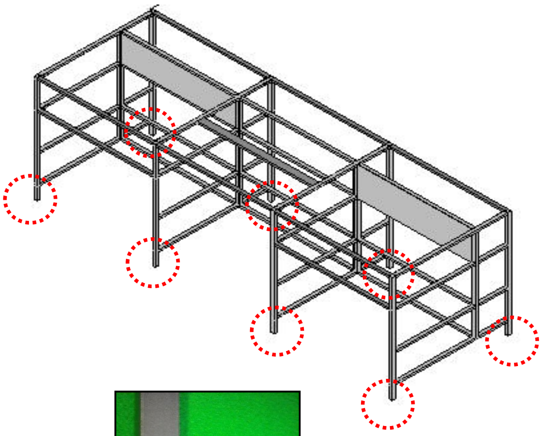
（食洗機対応の場合）



10 レベル（隅出し）

・フレームキッチンを組上げてから、キッチン高さを確認してください。

縦フレームのアジャスターで調整できます。



ポイント　床とフレーム本体をメジャーで確認すると、床のレベルに影響されますので、レーザー隅出し器で高さの確認調整をしてください。

アジャスター

ポイント　レーザー隅出し器でフレーム本体のゆがみを確認します。
ゆがみがあると、この後のカウンター、棚板の設置に影響がでます。

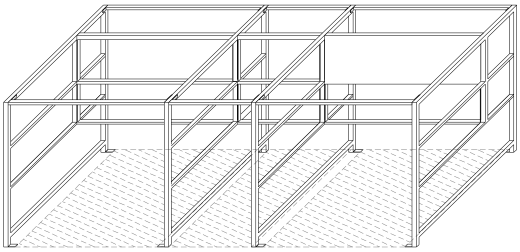
レーザー隅出し器

ポイント

レーザーを当てるとフレーム本体が少しずれています。手でフレーム本体を矯正します。

11 床の養生

・床を傷つけないために、キッチン据え付け場所に養生をしてください。



養生不足の場合、部品が落下すると床を傷つけるおそれがあります。

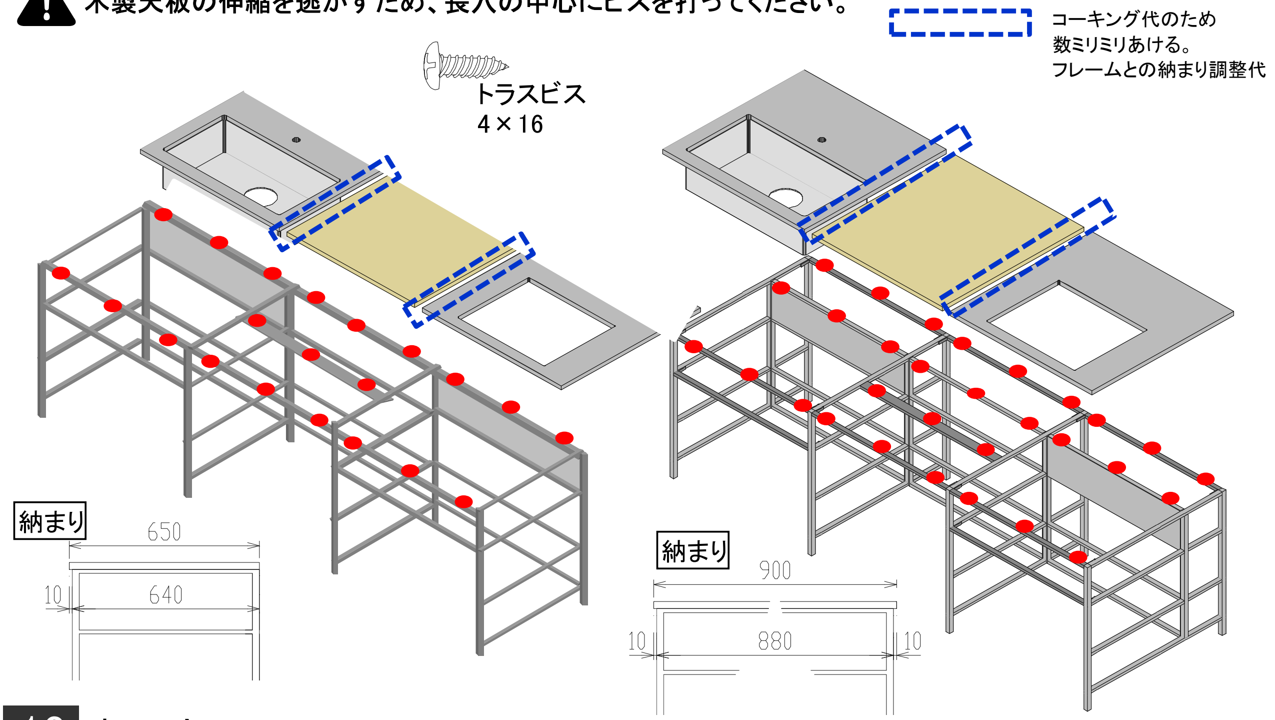
12 カウンターの取り付け

・付属のビスで下から固定します。

⚠ 必ず下穴(3ミリ)をあけてからビス固定をしてください。　木製のカウンターや棚板が割れるおそれがあります

⚠ 木製天板は天然木を素材としているため、反りがある場合はビスで反り矯正しながら固定してください。

⚠ 木製天板の伸縮を逃がすため、長穴の中心にビスを打ってください。



13 壁面固定

⚠ 警告

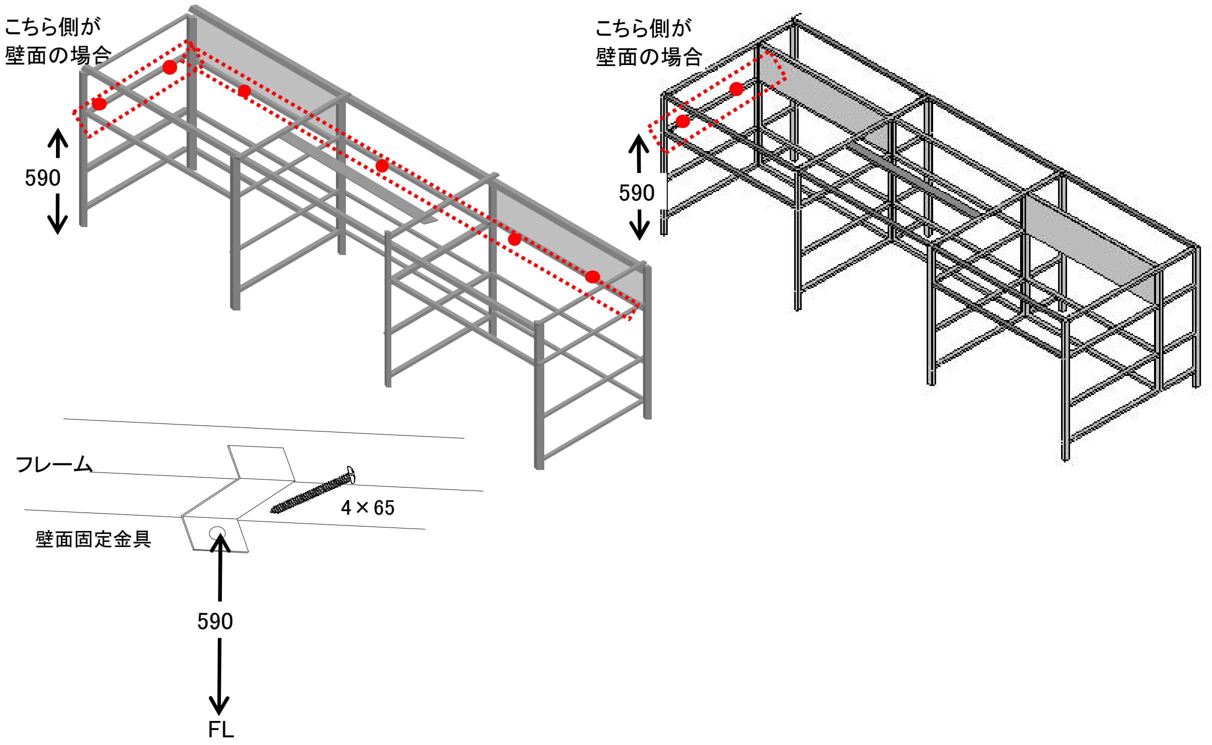
○取り付け位置に下地桟があるかを確認してください。
○必ず下穴をあけてから、付属の金具とねじで固定してください。

●Ｉ型キッチン・ユカオキの場合

壁面の正面壁には各横フレーム(背板)と壁面に
1カ所以上固定してください。
横壁には縦フレームで2カ所固定してください。

●P型キッチンの場合

横壁には縦フレームで2カ所固定してください。

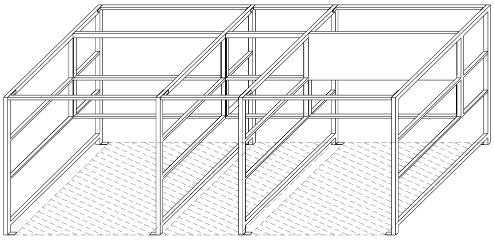


14 スリット板の取り付けについて

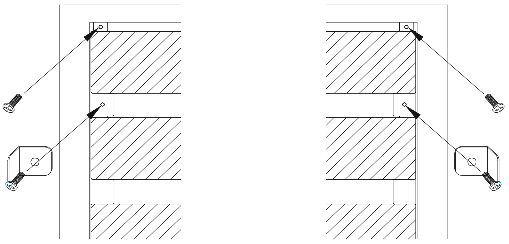
注意事項

● **床の養生**

スリット板や棚板が落下して、床を傷つけないために。

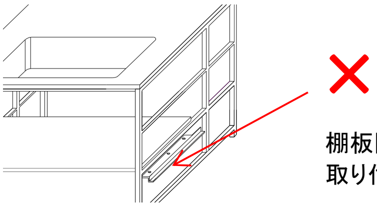


● **【スリット抜け防止ねじ】【固定金具】を必ず取り付ける。**



● **棚板より先にスリット板を取り付けること。**

棚板を先に取り付けると、棚板固定金具が邪魔をしてサイド用のスリット板受け金具が入りません。



棚板固定金具はスリット板を
取り付けてから。

スリット板取り付けの方法について

下記取り付け方法があります。

ポイント

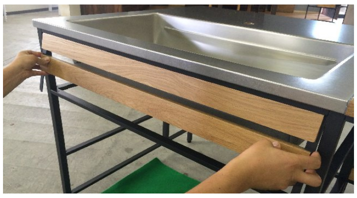
養生テープを使用すると取り付けが楽になります。

取り付けの最中にスリット板が落ちにくいです。

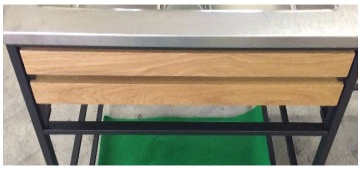
はがした後にテープ跡がないか
確認してください。

ポイント

3本（4本）のうちの2本（3本）だけ先に差し込んでから、最後の1本を入れると取り付けやすいです。



受け金具にスリット板を上側2本取り付けます。



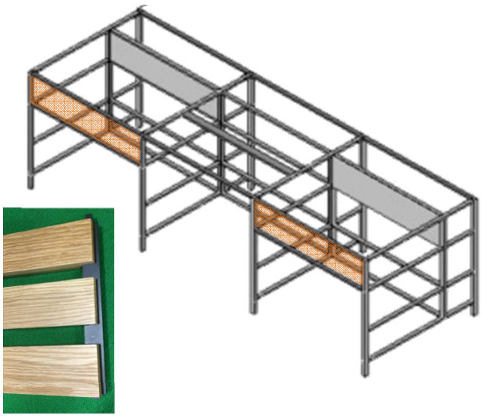
スリット板を2本フレームに差し込みます。

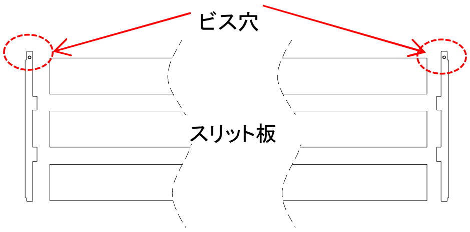
受け金具の下を外して、3本目のスリット板をはめます。

● [前幕用(シンク前、加熱機器前] スリット板の取り付け

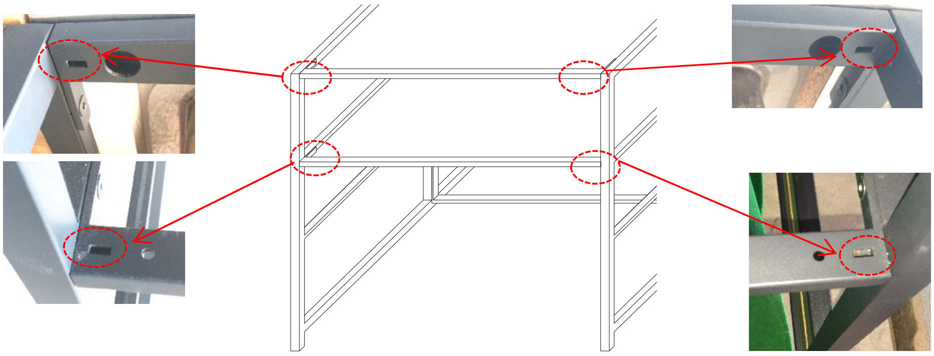
① スリット金具にスリット板3本をはめ込みます。

※ ビス穴は上向き

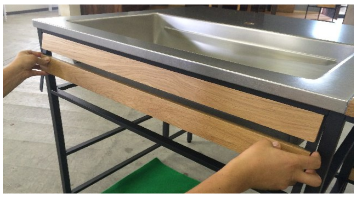




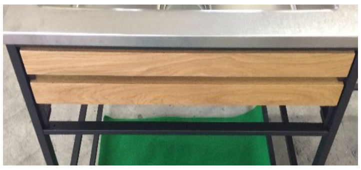
② 横フレーム(天板受け用)にスリット金具穴があるので、スリット受け金具をそこにはめ込みます。



ポイント ・2本だけ先に差し込んでから、3本目を入れると取り付けやすいです。



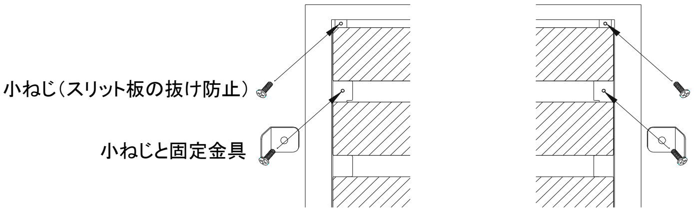
受け金具にスリット板を上側2本取り付けます。



スリット板を2本フレームに差し込みます。

受け金具の下を外して、3本目のスリット板をはめます。

必ず ③ スリット板の抜け防止の小ねじと固定金具を取り付けます。

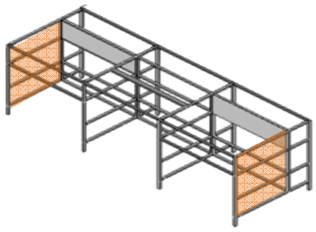


● [サイド用] スリット板の取り付け

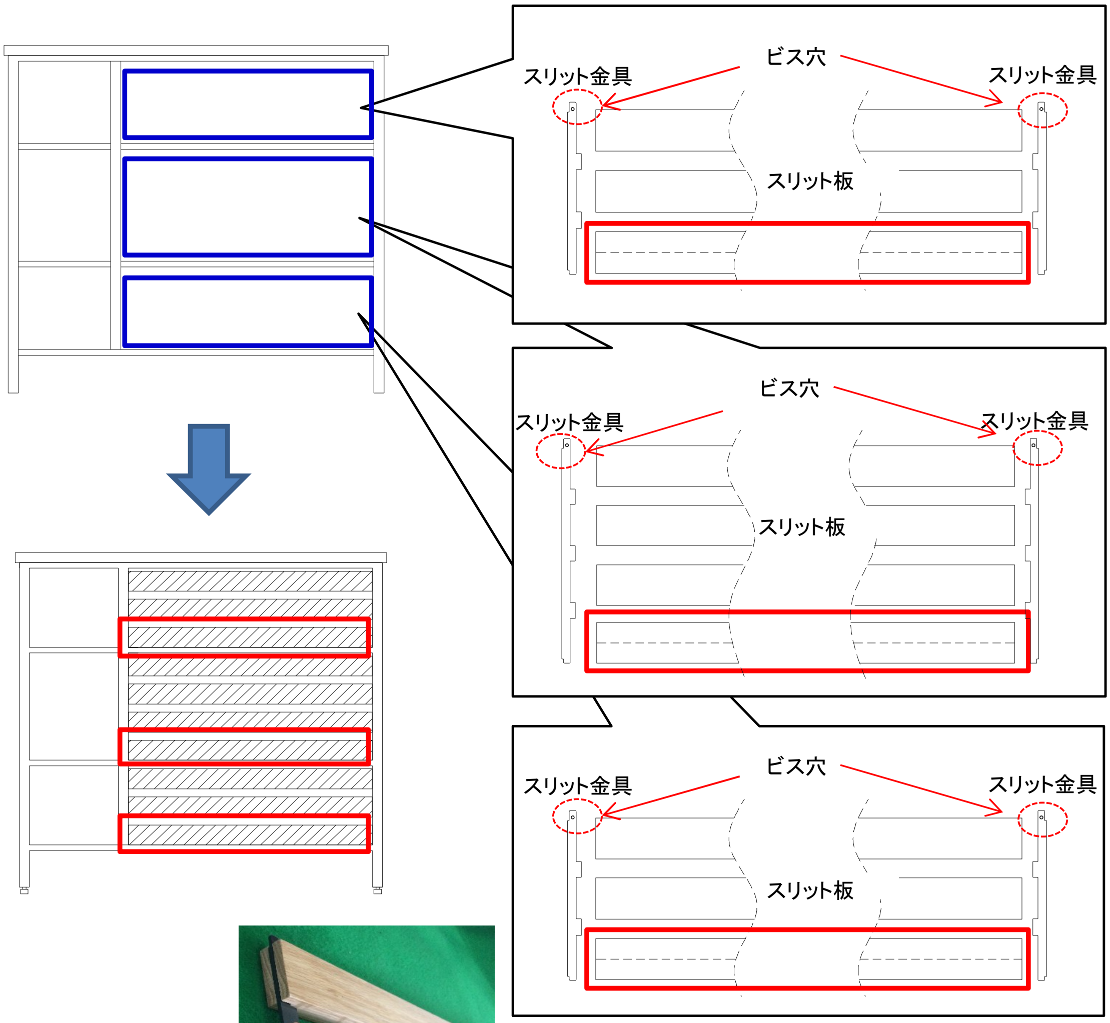
基本の取り付け方は[前幕用]と同じです。上段・中段・下段の取付順番はありません。

① 上段はスリット板3本、中段はスリット板4本、下段はスリット板3本をはめ込みます。

※ ビス穴は上向き



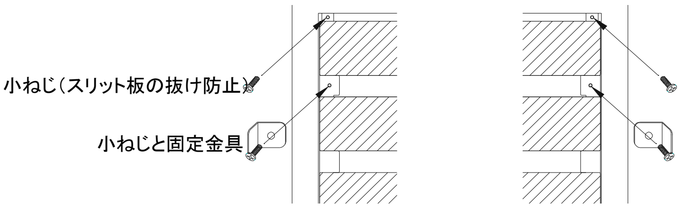
・ 赤枠は切り欠きタイプのスリット板



【切り欠きスリット板】
棚板を乗せるためのスペース確保のため切り欠いています。

② 上段・中段・下段のそれぞれにスリット板の抜け防止の小ねじと固定金具を取り付けます。

必ず

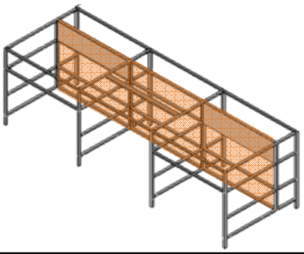


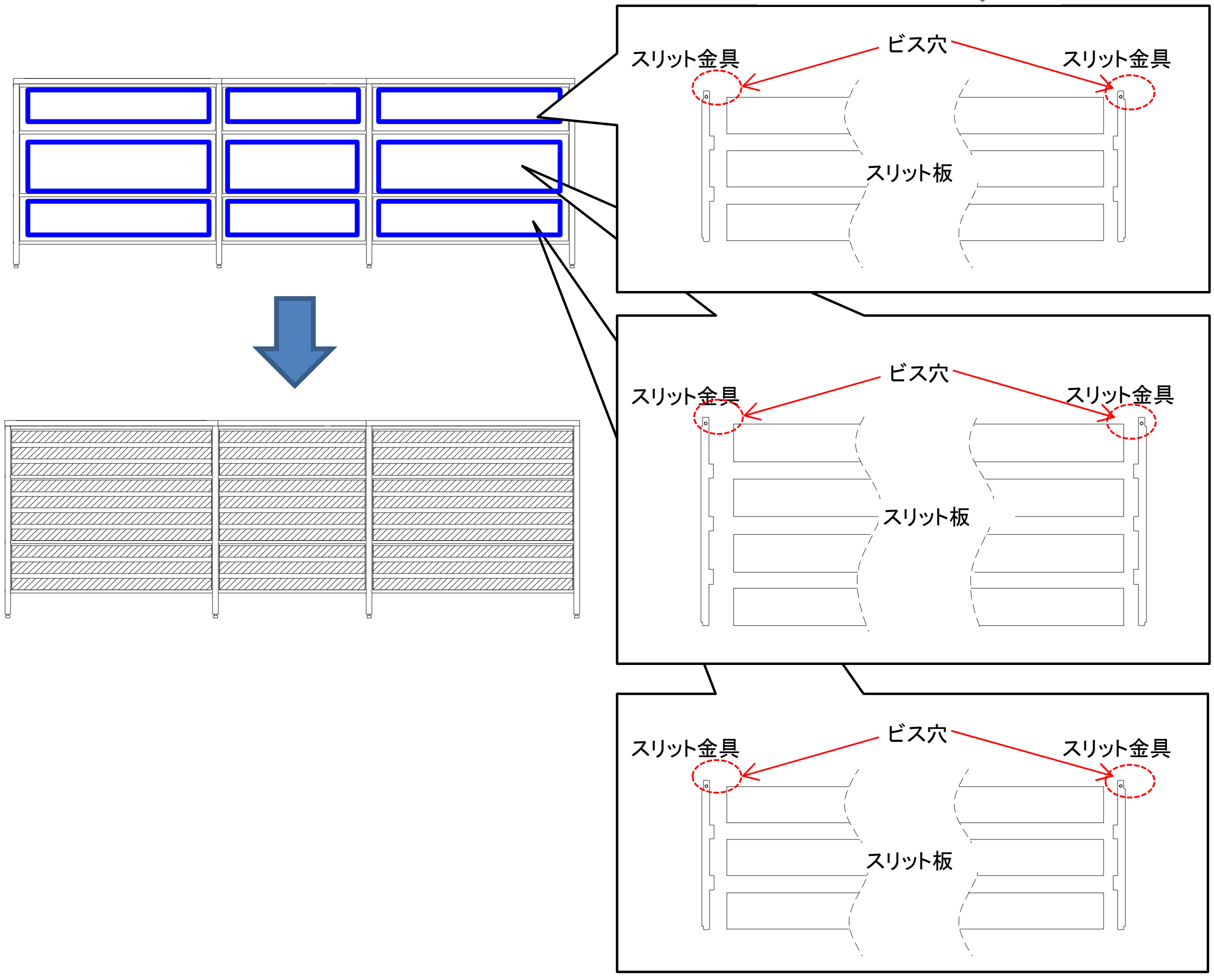
● [背面] スリット板の取り付け

基本の取り付け方は[サイド用]と同じです。上段・中段・下段の取付順番はありません。

① 上段はスリット板3本、中段はスリット板4本、下段はスリット板3本をはめ込みます。

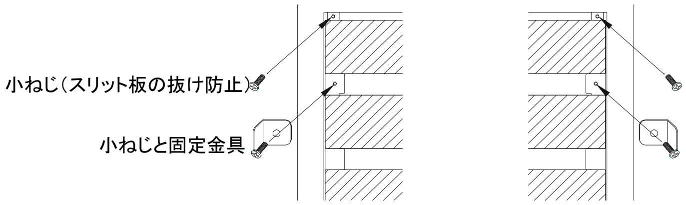
※ ビス穴は上向き





② 上段・中段・下段のそれぞれにスリット板の抜け防止の小ねじと固定金具を取り付けます。

必ず



15 水栓の取り付け

・各設備機器の説明書に従い取り付けてください。

※ フレームキッチンでは設備機器の配管やコンセントが露出します。

水受けトレーの設置例 →
（スリット板に取付）

16 加熱機器のの取り付け

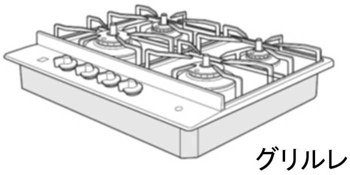
・各設備機器の説明書に従い取り付けてください。

※ フレームキッチンでは設備機器の配管やコンセントが露出します。

※ 壁がない場合のコンセント取付場所はスリット板に取り付けます。（下記参照）

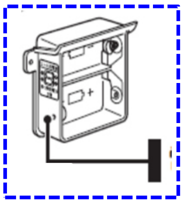
IH用コンセントの設置例
露出型（250V 30A）
（スリット板に取付）

グリルレスガスコンロ（RD640STS）の電池ボックスについて



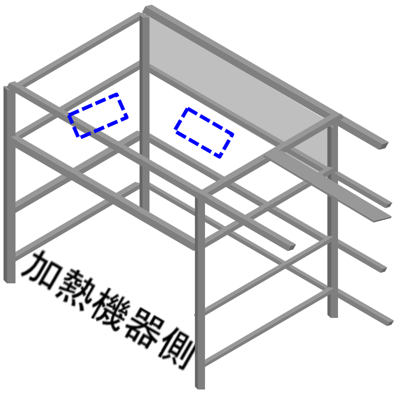
グリルレスガスコンロ

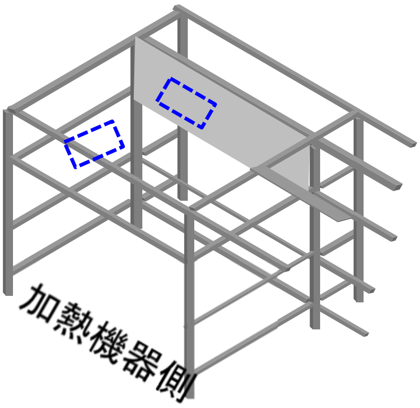
電池ボックスはガスコンロ本体に付属されている説明書に従って取り付けてください。



電池ボックス

左壁もしくは背壁に取り付けます。
※ RD640STSの設置説明書の指定により。
背壁の場合はスチール製のパネルがついていますので、スチールに穴をあけてから、
スリット板にビス固定するか、背壁の下地に向けてビス固定してください。
ビスは現地調達してください。



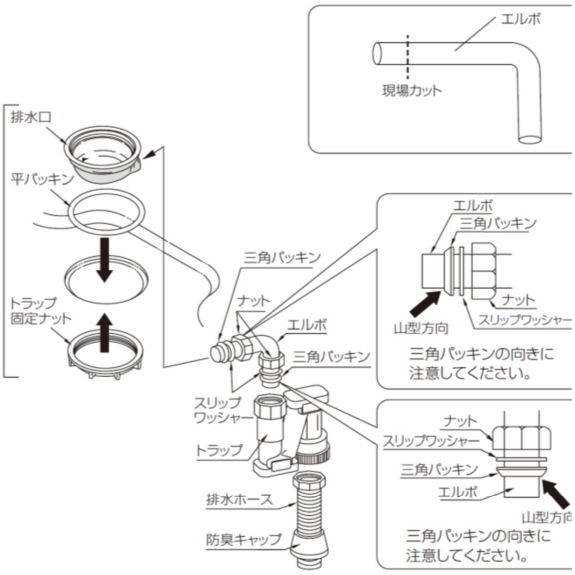


17 排水金具の取り付け

【排水トラップの取り付け】

(1) 排水口・平パッキンをシンクの上から差し込み、
トラップ固定ナットを手で仮締めする。

(2) ①現場立ち上げの配管位置にあわせでエルボを
カットする。
②排水口の出口にエルボを奥にあたるまでしっか
りと差し込み、ホースナットを手締めで固定する。
③エルボにトラップを差し込み、手締めで固定する。

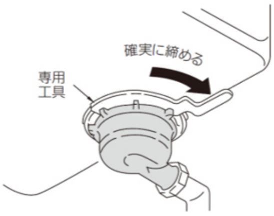


⚠ 注意

禁止

固定には工具などを使用しない。
樹脂部分などがわれるおそれがあります。

(3) トラップ固定ナットを専用工具で固く締め付け、
固定する。
※エルボがぐらつかないことを確認してください。



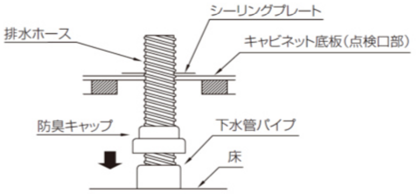
⚠ 注意

禁止

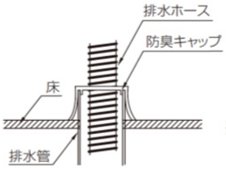
トラップ固定ナットの取り付けには専用工具以外は使用しない。
他の工具を使用すると均一に締まらなかったり、樹脂部分がわれるおそれがあります。

(4) トラップのホース接続部に排水ホースを差し込み、
ナットを手締めで固定する。

(5) 排水ホースをシーリングプレートと点検口フタまたは
配管カバーに通す。
(シーリングプレートはテープ保護紙を取り点検口フタ
または配管カバー上部に貼り付ける)



(6) ホースがたるまない位置まで防臭キャップを排水ホース
に差し込み、排水管に確実に取り付ける。
※ホースが長い場合は適切な長さに切断してください。
管工事



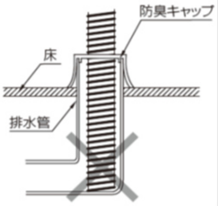
※防臭キャップを排水管に
密着させてください。

(7) 点検口フタまたは配管カバーを取り付けねじで固定する。

⚠ 注意

禁止

排水ホースは排水管の底に当てたり、たるませて取り付けない。
排水能力が低下してシンクから水があふれ、周囲を汚損するおそれがあります。ホースを適切な長さに切断してください。



⚠ 注意

必ずおこなう

防臭キャップと排水管の接続は接着剤またはシール剤で必ずシールする。
シールが不完全な場合、湯気が上がり、キャビネットや床などが腐るおそれがあります。

取付設置後の確認 シンクに水を満水にして、各接続部に水もれがないことを確認する。

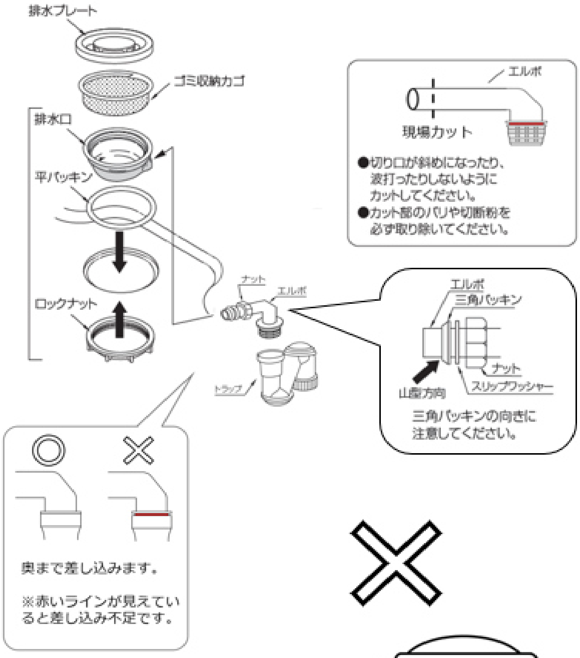
【黒排水トラップの取り付け】

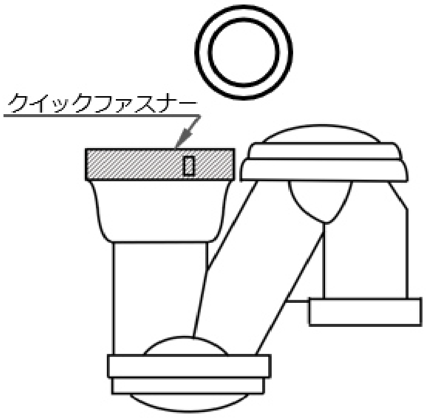
(1) 排水口・平パッキンをシンクの上から差し込み、
ロックナットを手で仮締めする。

(2) ①現場立ち上げの配管位置にあわせでエルボを
カットする。
（カットの必要がなければそのまま使用する。）
②排水口の出口にエルボを奥にあたるまでしっか
りと差し込み、ナットを手締めで固定する。

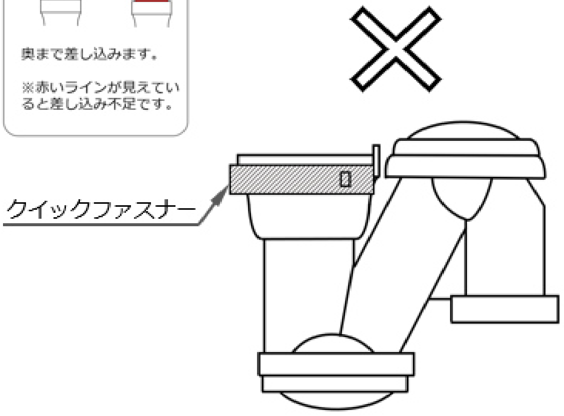
⚠ 注意	
必ずおこなう	ナットの固定は手締めする。 工具を使用すると樹脂部分が破損して水漏れするおそれがあります。

③トラップをエルボにしっかりと差し込んでください。
（クイックファスナーの取り付け位置に注意してください。）



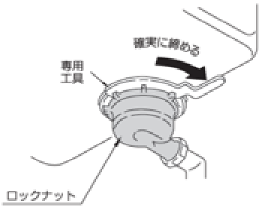


クイックファスナーがトラップのエルボ接続口
にしっかりと覆われている状態。



クイックファスナーがトラップのエルボ接続口
を覆っていない状態。

(3) ロックナットを専用工具で固く締め付け、固定する。
※エルボがぐらつかないことを確認してください。

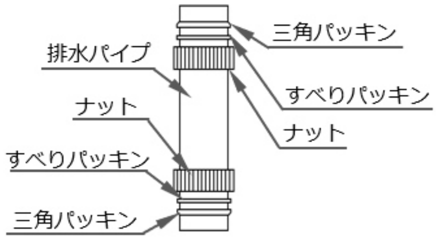


⚠ 注意	
必ずおこなう	ロックナットの固定は専用工具を使用する。 他の工具を使用すると均一に締まらなかったり、破損するおそれがあります。 ※ 専用工具は別途ご用意ください。

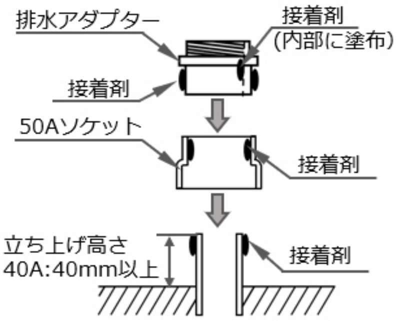
(4) トラップの接続部にエルボを差し込み、ナット
を手締めで固定する。

■40A排水管の場合

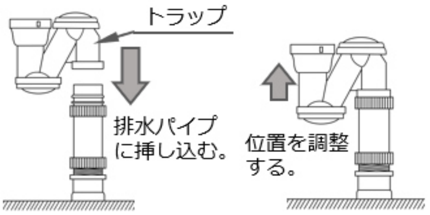
(5) 排水パイプにナット、すべりパッキン、三角パッキンを取り付けてください。
（三角パッキンの向きに注意してください。）



(6) 排水アダプター、50Aソケット、排水管に接着剤を塗布し、確実に取り付けてください。
（40A、50Aで接着剤の塗布する位置が異なります。）
※塩ビ管用接着剤を使用して下さい。（現地調達）



(7) 排水アダプターに排水パイプを差し込み、手締めで固定してください。
トラップの位置を調整し、トラップと排水パイプを手締めで固定してください。



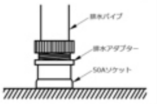
⚠ 注意

必ずおこなう

排水アダプターと50Aソケットの接続は接着剤で必ずシールする。

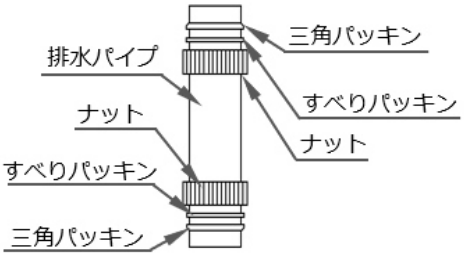
シールが不完全な場合、臭気が発生したり、湯気が上がりキャビネットや床が腐るおそれがあります。

※塩ビ管用接着剤を使用して下さい。

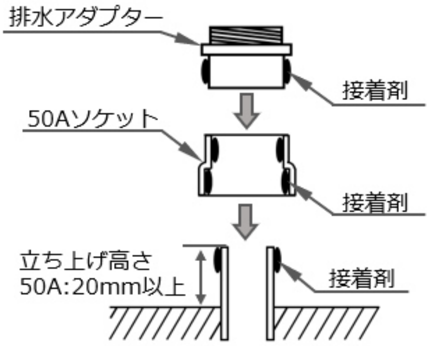


■50A排水管の場合

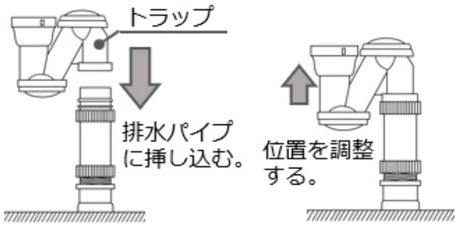
(5) 排水パイプにナット、すべりパッキン、三角パッキンを取り付けてください。
（三角パッキンの向きに注意してください。）



(6) 排水アダプター、50Aソケット、排水管に接着剤を塗布し、確実に取り付けてください。
（40A、50Aで接着剤の塗布する位置が異なります。）
※塩ビ管用接着剤を使用して下さい。（現地調達）



(7) 排水アダプターに排水パイプを差し込み、手締めで固定してください。
トラップの位置を調整し、トラップと排水パイプを手締めで固定してください。



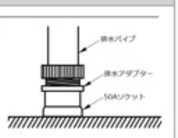
⚠ 注意

必ずおこなう

排水アダプターと50Aソケットの接続は接着剤で必ずシールする。

シールが不完全な場合、臭気が発生したり、湯気が上がりキャビネットや床が腐るおそれがあります。

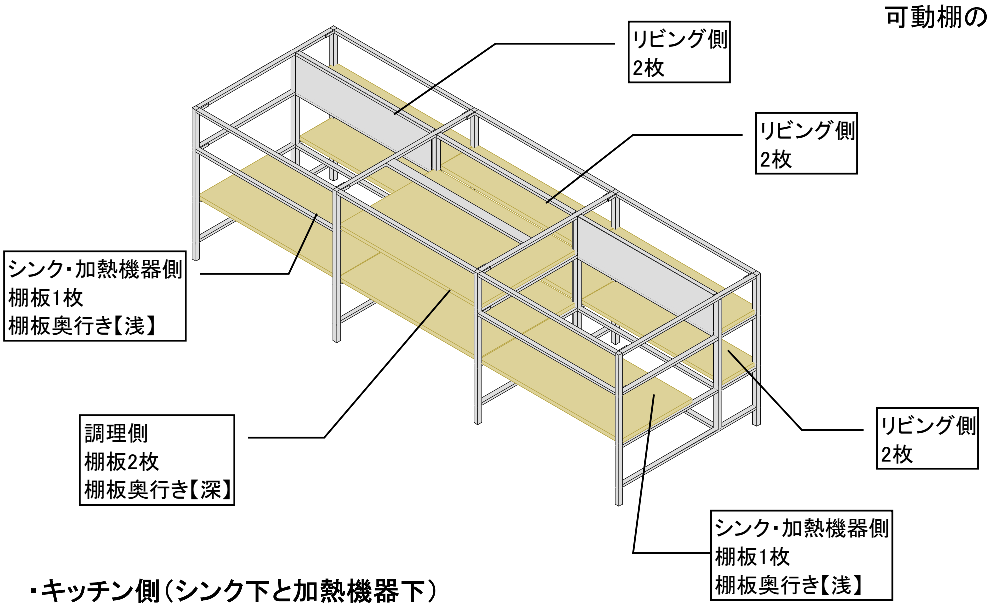
※塩ビ管用接着剤を使用して下さい。



取付設置後の確認 シンクに水を満水にして、各接続部に水もれがないことを確認する。

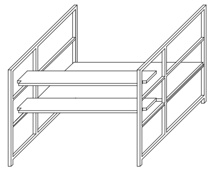
18 棚板の取り付け

・棚板をキッチン側とリビング側に取り付けてください。



リビング側

可動棚のため固定はしません。

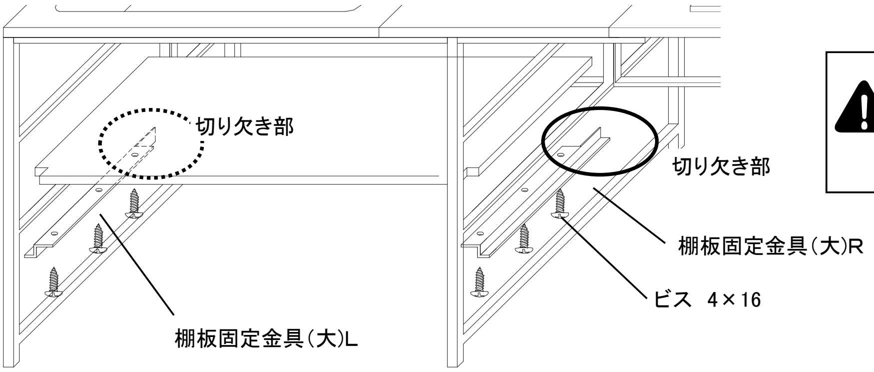


・キッチン側（シンク下と加熱機器下）

必ず下穴（3ミリ）をあけてからビス固定をしてください。

木製のカウンターや棚板が割れるおそれがあります。

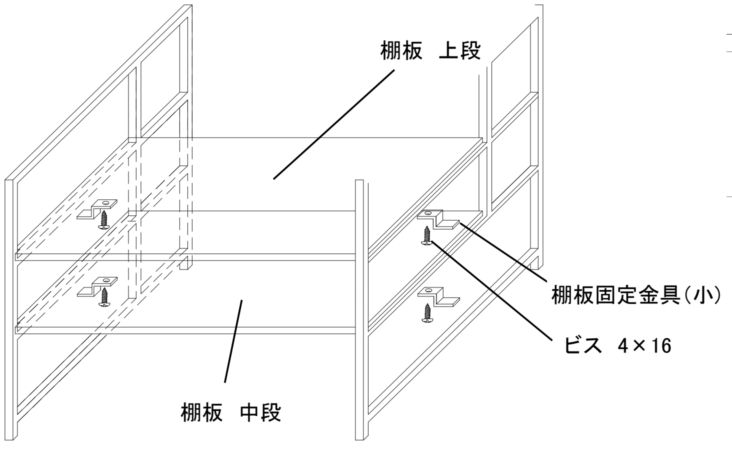
中段に棚板を1枚を固定金具（大）で取り付けます。

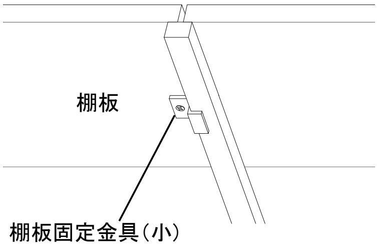


棚板固定金具（大）には切り欠き箇所でL/Rがあります。

・キッチン側（調理下）、ユカオキ側

上段と中段にそれぞれ棚板に固定金具（小）で取り付けます。





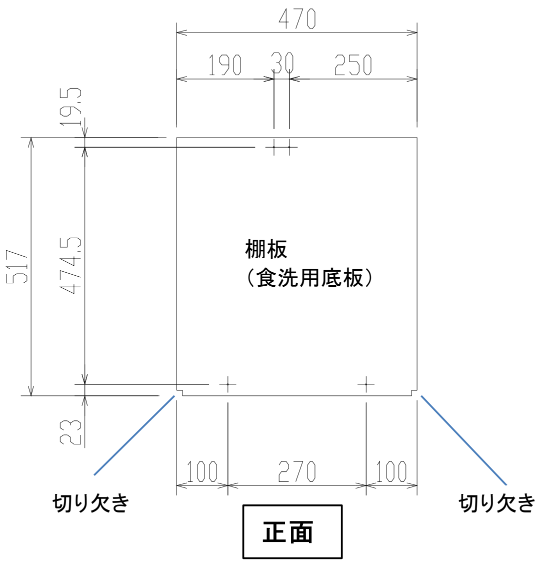
19 コンパクト型食洗機の取付

・食洗機用底板(棚板)に下記の通り下穴をあけから、棚板固定金具(大)でフレームと固定してください。

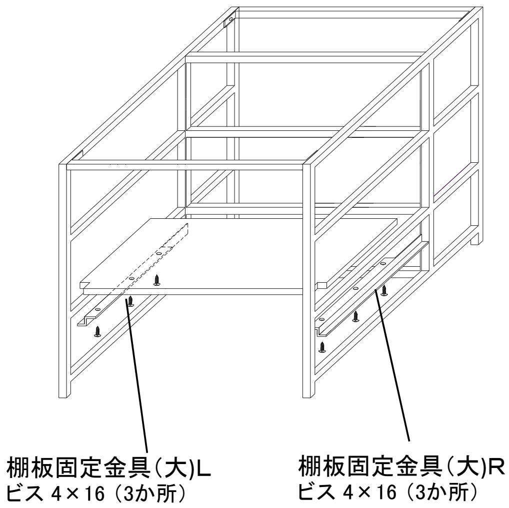
食洗機本体に同梱している説明書の位置とは異なります。

・食洗機本体の説明書に従い機器固定金具と機器の設置をしてください。

食洗固定金具取付位置(平面図)



棚板固定金具(大)取付位置



※ フレームキッチンでは食洗機の配管やコンセントが露出します。

※ 壁がない場合のコンセント取付場所はスリット板に取り付けます。(下記参照)

納まりは食洗扉とフレーム部を面一にします。

食洗用コンセントの設置例
アースターミナル付きコンセント (125V 15A)
露出増設ボックス
(スリット板に取付)

20 ミーレ製食洗機の取付

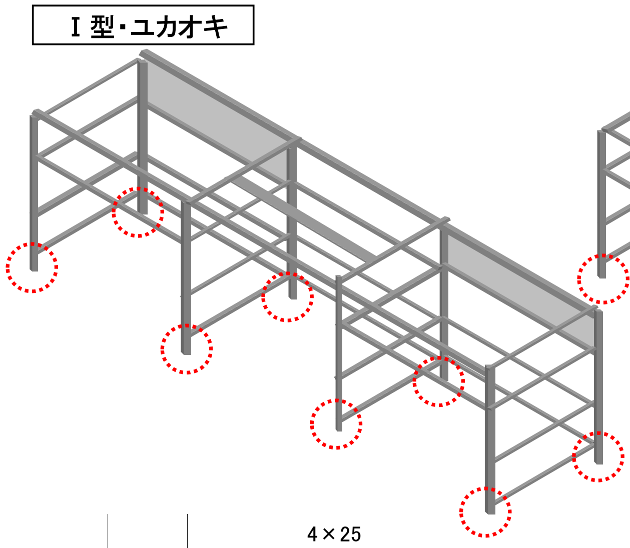
詳細は【ミーレ食洗取付部材セット】同梱の説明書をご確認ください。

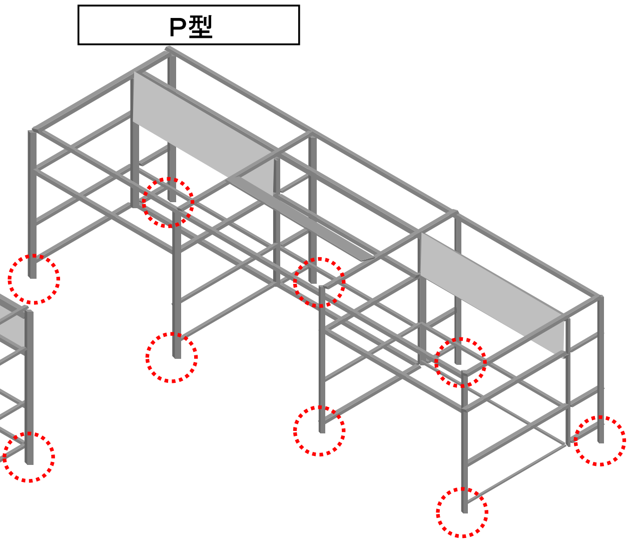
① 食洗の両隣の縦フレームの上段にスリット板を左右に1カ所取り付けます。
② スペーサー板をカウンター下取り付けます。
③ カウンター保護板(ステンレス)を取り付けます。
④ ミーレ食洗機本体の説明書に従い設置します。
⑤ ミーレ食洗機本体の固定をします。

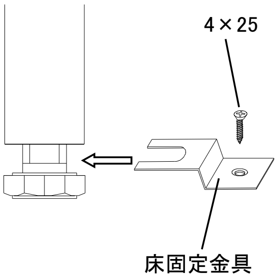
21 床固定

① キッチンの高さレベルを確認してください。（アジャスターで調整。）

② 床固定金具をフレームのアジャスターに差しこんでからビスで固定します。

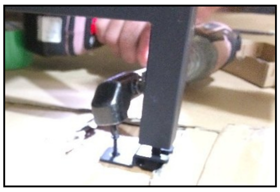






方向：縦フレームと並行

ポイント



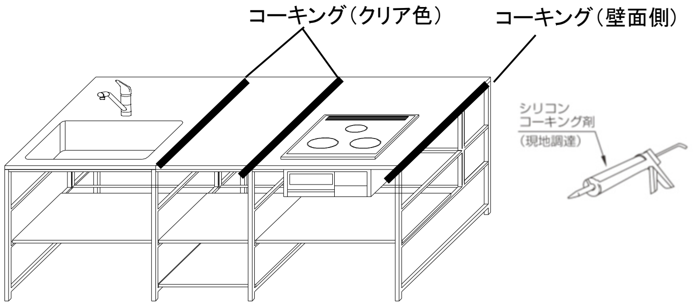
L型のビットや長いビットを使用すると固定しやすいです。

・下穴をあけてからビス固定してください。
・必ず床に固定してください。固定しなかった場合、フレームが動いてガス管や水道管がはずれることがあり危険です。
・コンクリート床の場合も必ずビス固定してください。
　※ コンクリートに使用する固定部材は現地調達

22 コーキング処理（シーリング）

・壁面との突き合わせ箇所にシリコーンシール剤（防カビ）でシールしてください。

※ 壁面がキッチン取り付け後仕上げの場合は、材工建築工事となります。



⚠ 注意

シリコンシーリング剤は防かび剤入りを使用する。

⚠ 注意

必ずおこなう

シーリングは確実に行う。

不備があると水漏れし、家財に損害を与えるおそれがあります。

23 養生と清掃 ・検査

・表面のほこり、汚れを拭き取ったか？

・キズや塗装はがれはないか？

・梱包材、木くずを片付けたか？

・フレームキッチンは壁、床にしっかり固定したか？

・フレームキッチンのねじは確実に本締めしたか？

・カウンターは水平に固定したか？

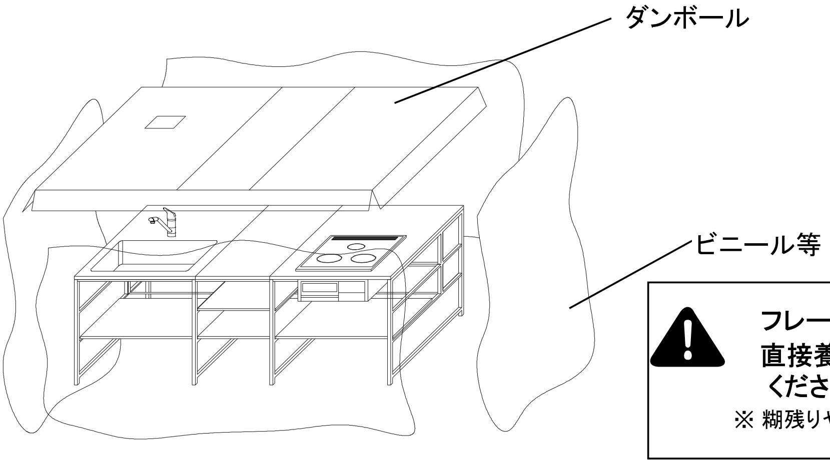
・設備機器の確認は各機器の説明書どおりに取り付けたか？

・排水トラップはしっかり固定したか？

・キッチン全体を清掃したか？

・養生したか？

※ 養生材は、梱包に使ったダンボールを使うか、現場手配のエアシートを使うなどして保護してください。



⚠ フレームやカウンターなどに直接養生テープを貼らないでください。

※ 糊残りや汚れの原因になります。